

地域運営学校



MINAMINO

小中一貫校八王子市立みなみ野小中学校

学校だより

うつぬき

令和7年10月20日号

学校評価結果報告号

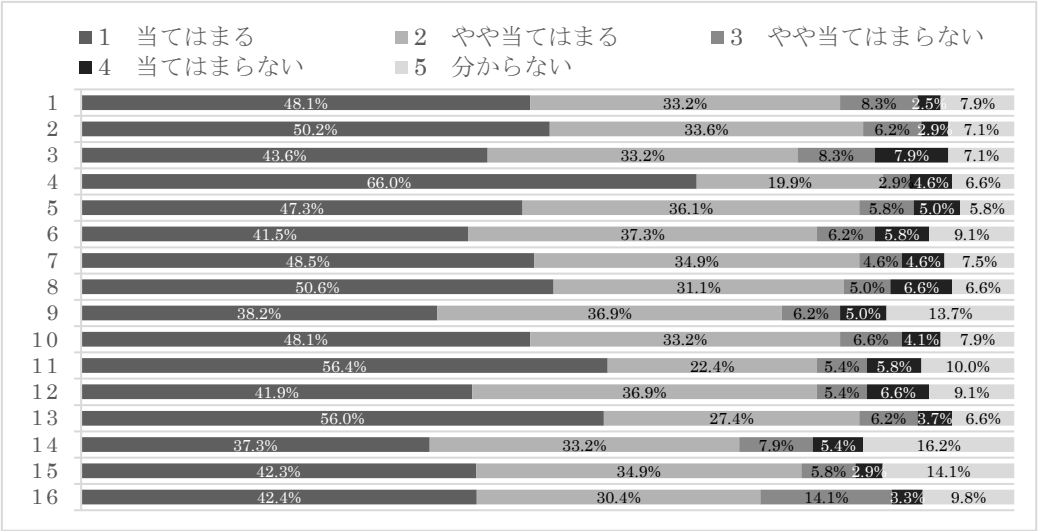


在籍児童・生徒数 小学校517名 中学校463名 合計980名 <10月1日現在>

前期学校評価を終えて

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。前期学校評価の保護者向けアンケートの結果をお知らせします。肯定的なご意見をいただいた部分については今後も継続し、ご指摘をいただいた部分については真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に活かしていきます。

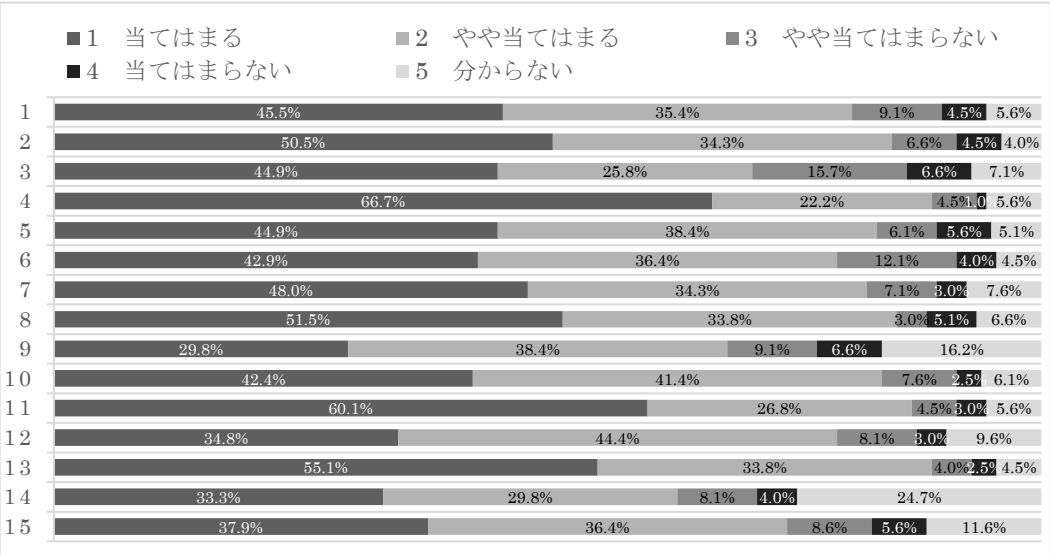
令和7年度前期学校評価アンケートの結果について (小学校保護者)		当てはまる	やや 当てはまる	やや 当てはまらない	当てはまらない	分からない
1	学校の経営方針（「思いやりがあり、優しい人」に重点を置いて教育活動を進める）を知っている。	48.1%	33.2%	8.3%	2.5%	7.9%
2	学校は特色ある取組（小・中の円滑な接続・習得目標問題の定着・あいさつ運動など）を行っている。	50.2%	33.6%	6.2%	2.9%	7.1%
3	みなみ野中学校・みなみ野君田小学校と合同で行う取組（桑都八王子かるた、児童会・生徒会の交流など）について知っている。	43.6%	33.2%	8.3%	7.9%	7.1%
4	学校は、子供たちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	66.0%	19.9%	2.9%	4.6%	6.6%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子供たちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育を進めている。	47.3%	36.1%	5.8%	5.0%	5.8%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応など、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	41.5%	37.3%	5.2%	5.8%	9.1%
7	子供の学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	48.5%	34.9%	4.6%	4.6%	7.5%
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	50.6%	31.1%	5.0%	6.6%	6.6%
9	学校の学習活動に対する評価は適切・公平である。	38.2%	36.9%	6.2%	5.0%	13.7%
10	学校は、子供たちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、決まりを守ったりする指導を行っている。	48.1%	33.2%	6.6%	4.1%	7.9%
11	学校が、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」などを用いて、子供の生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	56.4%	22.4%	5.4%	5.8%	10.0%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	41.9%	36.9%	5.4%	6.6%	9.1%
13	学校は、保護者に対して、学校便りやホームページなどで適切に情報を提供している。	56.0%	27.4%	6.2%	3.7%	6.6%
14	学校は、特別支援教育（特別な配慮や支援を必要とする子供に対する教育）に取り組んでいる。	37.3%	33.2%	7.9%	5.4%	16.2%
15	学校は、体罰・不適切な指導の根絶に向けて取り組んでいる。	42.3%	34.9%	5.8%	2.9%	14.1%
16	教科担任制になり、以前より多くの教員との関わりを感じる。（5・6年生のみ実施）	42.4%	30.4%	14.1%	3.3%	9.8%



全児童数517名に回答を依頼し、回答数は241名分（回収率約47％）でした。前年度に比べると回収率が下がってしまったことは、今後回収率を上げるための方策が必要と考えます。質問事項の半数以上が、「当てはまる」「やや当てはまる」という肯定的な意見の割合が80％を超えており、おおむね本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることがうかがえます。なお、80％を下回った項目への回答は以下のとおりです。

- ・項目6（78.8％）では、昨年度よりも肯定的回答をいただけてはいますが、まだ80％を超えることができていません。年3回のいじめアンケートや子ども見守りシート、日々の見守りなどでいじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めています。毎週金曜日に行っている学校いじめ対策委員会では、教職員間で情報共有をし、速やかに対応をしています。今後も「いじめはいつでも、どのクラスでも起こりうる」と認識し、適切に対応していきます。
- ・項目9（75.1％）では、保護者会で評価の観点を示していますが、保護者の方に評価の仕方が分かりにくいという印象を与えていることが考えられます。学習評価の規準を具体的に示し、個人面談等で評価の根拠を丁寧に説明できるようにしていきます。
- ・項目11（78.8％）では、行事ごとや学期末にキャリア・パスポートを活用したり、社会科見学や地域人材による授業などを行ったりするなどのキャリア教育に取り組んでいます。児童の記録の紹介やキャリア教育の意義を更に明確にしていきます。
- ・項目12（78.8％）では、老朽化が進み、児童には不便なこともあるかと思われます。市教育委員会と連携して、トイレの改修や体育館の屋根の修繕など進めています。
- ・項目14（70.5％）では、学年便りで「なかよしコーナー」を掲載し、定期的に特別支援教育について紹介しています。担任・支援員・養護教諭・スクールカウンセラーが情報を交換し、一貫した支援を行っています。これからも全校児童が安心できる教育を進めていけるように努めます。
- ・項目15（77.2％）では、児童が安心・安全に学校生活を送れるよう、全教職員が毎年「体罰の根絶と適切な指導」についての研修を受けています。今後も継続的に研修を重ね、児童一人一人が安心して過ごせる学校づくりに努めていきます。
- ・項目16では、（72.8％）児童の様子を教科ごとに断片的に見るのではなく、教職員間で共有して「どの先生も自分を気にかけてくれている」と児童が感じられるようにしていきます。

令和7年度前期学校評価アンケートの結果について (中学校保護者)		当てはまる	やや 当てはまる	やや 当てはまらない	当てはまらない	分からない
1	学校の経営方針（「思いやりがあり、優しい人」に重点を置いて教育活動を進める）を知っている。	45.5%	35.4%	9.1%	4.5%	5.6%
2	学校は特色ある取組（小中の円滑な接続・習得目標問題の定着・あいさつ運動など）を行っている。	50.5%	34.3%	6.6%	4.5%	4.0%
3	みなみ野小学校・みなみ野君田小学校と合同で行う取組（桑都八王子かるた、児童会・生徒会の交流など）について知っている。	44.9%	25.8%	15.7%	6.6%	7.1%
4	学校は、子供たちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	66.7%	22.2%	4.5%	1.0%	5.6%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子供たちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育を進めている。	44.9%	38.4%	6.1%	5.6%	5.1%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応など、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	42.9%	36.4%	12.1%	4.0%	4.5%
7	子供の学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	48.0%	34.3%	7.1%	3.0%	7.6%
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT 機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	51.5%	33.8%	3.0%	5.1%	6.6%
9	学校の学習活動に対する評価は適切・公平である。	29.8%	38.4%	9.1%	6.6%	16.2%
10	学校は、子供たちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、決まりを守ったりする指導を行っている。	42.4%	41.4%	7.6%	2.5%	6.1%
11	学校が、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」などを用いて、子供の生き方や将来についてのキャリア教育を行っている。	60.1%	26.8%	4.5%	3.0%	5.6%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	34.8%	44.4%	8.1%	3.0%	9.6%
13	学校は、保護者に対して、学校便りやホームページなどで適切に情報を提供している。	56.1%	33.8%	4.0%	2.5%	4.5%
14	学校は、特別支援教育（特別な配慮や支援を必要とする子供に対する教育）に取り組んでいる。	33.3%	29.8%	8.1%	4.0%	24.7%
15	学校は、体罰・不適切な指導の根絶に向けて取り組んでいる。	37.9%	36.4%	8.6%	5.6%	11.6%



全生徒数463名に回答を依頼し、回答数は198名分（回収率43％）でした。質問事項の半数以上が、「当てはまる」「やや当てはまる」という肯定的な意見の割合が80％を超えており、おおむね本校の教育活動にご理解とご協力をいただいていることがうかがえます。なお、80％を下回った項目への回答は以下のとおりです。

・項目3（70.7％）では、6月に中学校3年生が、みなみ野小学校の1年生、みなみ野君田小学校の2年生と、桑都八王子かるたを通して交流をしました。1月には、中学校2年生の生徒会本部役員が、みなみ野小学校とみなみ野君田小学校の6年生に、中学校入学に向けて、みなみ野中学校を紹介する授業を計画しています。現状の取組は特定の学年が対象なので、該当学年以外は関わっていないことが原因の一つだと考えます。学校ホームページや学校便りなどを通して情報を発信していきます。

・項目6（79.3％）では、6月には弁護士を講師に招き、2年生を対象とした「いじめ防止教室」を行い、どのような理由があろうとも、いじめは許されないことを学びました。7月には南大沢警察署生活安全課少年係スクールサポーターを講師に招き、全校生徒を対象とした「セーフティ教室」を行い、SNSの危険性と同時に、いじめにつながる危険性について学びました。「特別の教科 道徳」でも、いじめに関する授業の取組などを行っています。いじめ防止の取組も学年便りなどで発信していきます。

・項目9（68.2％）では、まだ評価が出されていない1学期途中の段階での調査のため、「分からない」と回答された方が約16％まで上昇したと考えられます。一方、「みなみ野中学校の評価は、他校と比較して厳しい」との声もいただきました。同じ市内の中学校とも情報を共有し、本校における課題を明確にして、改善に努めていきます。また、校内研修を実施して、定期考査の在り方や評価・評定について共通理解を図り、学習評価の適正化に尽力していきます。

・項目12（79.2％）では、学習環境の整備について、学習進路部や生活指導部を中心に、教室の前の黒板に掲示物を貼らずに、授業に集中できる環境づくり（ユニバーサルデザインの考え）などに努めていきます。

・項目14（63.1％）では、生徒に対するきめ細かな支援を行うために、特別支援教育に関する校内研修を毎年実施しています。また今年度は、八王子市が実施した特別支援教育（初級）講座を全教員が受講し、特別支援教育に対する理解を深める取組も行いました。臨床心理士による巡回相談や、特別支援教室「フレンズ」の巡回指導教員との情報共有も密に行っています。今後も特別支援教室「フレンズ」や校内別室「おいでよ」などの活動状況を、より多くの保護者にも伝えていきます。

・項目15（74.3％）では、年3回の服務事故防止研修などを通して、体罰・不適切な指導についての正しい認識をもつとともに、生徒理解に努め、生活指導部や学年組織を中心にチームとして対応していきます。